

優秀賞

「ありがとう」に感動

茨城県 下妻市立大形小学校六年 浅野 日菜

私は、祖父との出来事で言葉の持つ力を体験しました。

両祖父母の住む家と私の家は同じ敷地内にあります。祖父は老人の病気にかかり二年前からねてばかりで、話をしなくなっていました。がんで嫌なこととは拒否して動こうとしません。「おじいちゃん」と呼んでも、ぶすつとした顔で返事もしません。その頃の私は祖父には「どうせ聞こえてないんだろ」と思いこんでいたので話しかけることもしませんでした。

ある日、母が図書館から認知しようの介護の本を借りてきて読んでいました。母は私に

「この本に、おじいちゃんのように話をしなくなったら人や、聞こえているか分からない人も、本当は聞こえているから話しかけるようにすると良くなくなる人もいる、って書いてあったの。お母さんは、

これから、おじいちゃんに、なるべく話しかけるようにするから、日菜も話しかけるように協力して。」

とたのまれました。私は「そんなことで良くならないよ」と思いました。母にしつこく言われて仕方ないので協力することにしました。

私は学校から帰ると

「おじいちゃんただいまー。」

と言葉をかけるようにしたり、話しかけました。

お風呂に入るのを嫌がる祖父に

「おじいちゃんお風呂入ろうね。」

と説得すると無言で従がってくれようになったのです。それを見た祖母は

「やっぱり孫がかわいいからいうことを聞いてくれるんだよ。」

と言われて説得する役割になりました。

それから数日が過ぎて、
「おじいちゃん。」

と呼ぶと

「うん。」

と返事するようになってきました。少しずつ変わってきました。

話しかけることを始めて三カ月たった頃のある夜のことです。母が夕ご飯を作って家に祖父と祖母を招待した時の事でした。

食べ終わった祖父が

「ごちそうさま。」

とお礼を言ったのです。二年ぶりのお礼の言葉に祖母と父と母がおどろいて喜びました。そしてげんかんで祖父にくつをはかせてあげると、

「ありがとう。」

と私にも言ってくれたのです。私は、そのしゅんかん「ありがとう」の言葉は言われるとうれしい言葉だけど、今までこんなに「ありがとう」の言葉が感動するほどうれしく感じたことは、ありませんでした。

最近の祖父は、言葉は少ないですが話をするようになり

「日菜は、まだ帰って来ないのか。」

と聞いてくれるぐらい元気になってきました。

私は、祖父に話しかけを実行したことで、言葉は人を元気に出来ると知りました。

そして、「ありがとう」の言葉で感謝されることがこんなにうれしくて感動する言葉だと知りました。これからもたくさん「ありがとう」を祖父母に言ってもらえる言葉をかけたいです。

